

令和
6年度

KURASHIKI Music Academy 2024

倉敷音楽アカデミー

開催のご案内

受講資格

本アカデミーはプロの音楽家の講師による上級者向けの市民公開講座です。各楽器の勉強をされている方なら、どなたでもご参加いただけます。

部門と講師（裏面参照）

- ・ **第55回 ヴァイオリン部門（室内楽可）** 講師：漆原 啓子（桐朋学園大学音楽学部特任教授）
※ 今年度は、ピアニストの方で、講師(ヴァイオリン)と一緒にアンサンブル(二重奏 or ピアノトリオ)をされたい方も受講いただけます。
- ・ **第51回 チェンバロ部門（室内楽可）** 講師：岩淵恵美子（元沖縄県立芸術大学講師他）
- ・ ピアノ・伴奏法部門について：今年度はお休みいたします。ただし、アンサンブルの場合は上記のヴァイオリン部門を受講いただくこともできますし、別に開講するピアノ・ジュニア部門を一般の方が受講いただくこともできますので、ご検討ください。

受講費

- ・ ヴァイオリン部門：1回50分 10,000円（受講者3名以上の室内楽=20,000円）
- ・ チェンバロ部門：1回50分 10,000円（4名以上5名以内の室内楽=20,000円）
- * 受講当日、受付時にお支払いください。

開催場所と日時

倉敷市芸文館 / 岡山県倉敷市中央1丁目18-1

- ・ **ヴァイオリン部門（第1練習室）** 令和6年8月31日(土) 10:00~17:50 (50分×7枠)
令和6年9月1日(日) 10:00~17:50 (50分×7枠)
- ・ **チェンバロ部門（アイシアター）** 令和6年7月13日(土)10:00~19:50 (50分×8枠)
令和6年7月14日(日)10:00~17:50 (50分×7枠)

* 日時は諸般の事情により変更されることがあります。

お申込み・お問合せ先 ⇒ 下記QRコードからスマートフォン等でアクセスし申し込みください。

〒710-0046 倉敷市中央1-18-1 アルスクらしき「倉敷音楽アカデミー」係
TEL : 086-434-0505 FAX : 086-434-6088

申込締切

ヴァイオリン部門：令和6年7月16日（火） **チェンバロ部門：令和6年6月12日（水）**

- * 申込多数の場合は、抽選で受講者を決定させていただきます。
- * 受講日の1週間前までに、受講者に決定したプログラムをお送りします。

受講申込フォームアクセスQRコード

- ※ FAXでのお申込みを希望の方は、上記お問合せ先にご連絡ください。
- ※ PCの場合はアルスクらしきのホームページ (<https://arsk.jp>) からお申込みください。

【注意事項】

- ① 2名以上でご参加の場合は、代表者1名がお申込みいただければ結構です。ただし、フォームにメンバー全員のお名前をご記入ください。
- ② 備考欄に受講可能な時間帯全てのご記入をお願いします。「○日はいつでも」「○日■時~▲時」等
- ③ 申込多数の場合は、受講できないまたは1枠のみの受講となることがあります。
- ④ **1名での受講は1枠に限らせていただきます。**（チェンバロ部門）

ヴァイオリン部門



チェンバロ部門



講師紹介

岩崎 淑 (ピアノ・伴奏法) IWASAKI Shuku

倉敷出身。桐朋学園およびジュリアード (米) キジアーナ (伊) 各音楽院で学ぶ。ミュンヘン国際コンクールの「チェロとピアノ二重奏部門」で第3位。ブダペスト、チャイコフスキー両国際コンクールで伴奏者特別賞。キジアーナ音楽院でR・ブレンゴラ教授と共に室内楽クラスを担当する。「ミュージック・イン・スタイル」を主宰し芸術祭賞受賞。ノルウェー王国功労勲章叙勲。福武文化賞受賞。元高松国際ピアノコンクール審査委員長。著書『アンサンブルのよろこび』『ピアニストの毎日の基礎練習帳』『楽興の瞬間』(春秋社)『音楽さえあれば』(吉備人出版) 等多数。各社よりCD多数リリース。元桐朋学園大学院大学教授。現在、くらしき作陽大客員教授。国際音楽祭ヤング・ブラハ会長。

伴奏法のレッスンについて

ヴァイオリンやチェロや声楽とのアンサンブルにおいて伴奏パートを弾くための、細かい指使いやペダリングなどを指導します。

現時点で相手がいなくても、伴奏のテクニックを身につけることによって、ピアノを学ぶ人に必要な伴奏の仕方が分かり、いざアンサンブルをする時に役立ちます。もちろんパートナーの方と一緒にお願いしても結構です。

レッスンを希望する方は学びたい曲のピアノパート譜を持参してください。個人レッスンの合間には、伴奏に関するエピソードや心得なども、講師の経験を踏まえながらお話しします。

漆原 啓子 (ヴァイオリン) URUSHIHARA Keiko

第8回ヴィニャフスキ国際コンクールに最年少(18歳)で参加、日本人初の優勝を飾る。東京藝大入学と同時に演奏活動を開始。ハレー弦楽四重奏団の一員として民音コンクール室内楽部門で優勝。齋藤秀雄賞受賞。「倉敷音楽祭」を含む多数の国内、国外の主要音楽祭に出演。協奏曲のソリストや室内楽、リサイタルなど国内外で高い評価を得る。2016年デビューから35周年を迎え、2017年にはヤコブ・ロイシュナーと「モーツァルト：ヴァイオリンとピアノのための作品全集」をリリースし、レコード芸術特選盤に選ばれる。各社より多数のCDをリリース。桐朋学園音楽大学音楽学部特任教授、国立音楽大学教授。

岩淵 恵美子 (チェンバロ) IWABUCHI Emiko

上野学園大学音楽学部器楽学科チェンバロ専攻卒業。チェンバロを山田貢、通奏低音法を廣野彌雄、アンサンブルを故大橋敏成の各氏に師事。ベルギーのモンス王立音楽院に留学。チェンバロを故ロバール・コーネン、アンサンブルをヴィーラント・クイケンに師事。プルミエ・プリを得て卒業。第5回古楽コンクール、チェンバロ部門最高位入賞。ソリスト、通奏低音奏者として各地での演奏会を展開している。「倉敷音楽祭」のシリーズ企画「チェンバロのある風景」でのソリストや通奏低音奏者としても好評を博す。1993年より1999年まで国立音楽大学音楽研究所に所属し、イタリア初期バロックの研究に勤めた。1997年より各地でチェンバロとモダンピアノの前身であるフォルテピアノでのリサイタルツアーを展開。2020年からオンラインレッスン、オンラインレクチャーを開始。オンラインレクチャーでは演奏家にしか作れない新しい形のレクチャーを継続中。元沖縄県立芸術大学講師。